



学校をきれいに！手作りの庭ほうき寄贈

5月15日（木）、町シルバー人材センター（西堂岩男事務局長）から、町内6小学校へ庭ほうき50本が寄贈されました。

この取り組みは、地域の子どもたちとシルバー人材センター会員の交流を目的に毎年、同センターが実施しているもので、庭ほうきを作製した会員の丸山義男さん（角堂）は、「子どもたちが使いやすいように、柄の長さや太さ、そして重さを考えながら作りました。」と話されました。

児童代表として大丸小学校6年生の濱松春心^{かすみ}さんと竹野千星^{ちほ}さんが、「このほうきで学校をきれいにしたいと思います。」とお礼を述べました。



▲庭ほうきを受け取る児童たち



きばいやんせ大崎町！関東大崎会開催

5月18日（日）、渋谷エクセルホテル東急（東京都）において、『第16回関東大崎会交流・懇親の集い』が開催され、約100名が出席しました。

同会は、関東地区（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県など）に在住する本町出身者や本町にゆかりのある方々などで構成されております。

薬丸義朗会長（上仮宿出身）は、「私たちも遠く関東の地から自分たちの母なる大地（大崎町）の住みよい町づくりに協力しようではありませんか。」と出席者らに呼びかけました。また、同会場では、町特産品フェア（町商工会）も行われ、ふるさとの懐かしい味を買い求めています。



▲関東大崎会交流・親睦の集いの様子



和気あいあいと！町合同福祉スポーツ大会

5月20日（火）、町総合体育館において『平成26年度合同福祉スポーツ大会』が開催され、町内の福祉団体や福祉施設などから約300名が参加しました。

この大会は、高齢者をはじめ、心身に障がいを持つ方々や母子寡婦家庭などの皆さんが一堂に集い、スポーツを通じてお互いの交流・連携を深め、ふれあいの輪を広げようと開催されたものです。

館内では、玉入れや輪投げ、ボーリングなど12種目の競技が行われ、参加者らは声を掛け合いながら楽しく汗を流していました。



▲玉入れ競技を行う参加者ら